

校内研究への支援の在り方

～教員一人一人の授業改善につながる校内研究を目指して～



センター指導主事

渡邊 昭二郎 渡邊 信也
今村 恵美子 萩原 義晃
小林 裕直

所内アドバイザー

小尾 俊彦
外川 陽清

山梨大学アドバイザー

小尾 一仁 河野 瑞穂 藤原 裕一
古屋 啓一 角田 大輔 樋川 裕幸

研究の目的

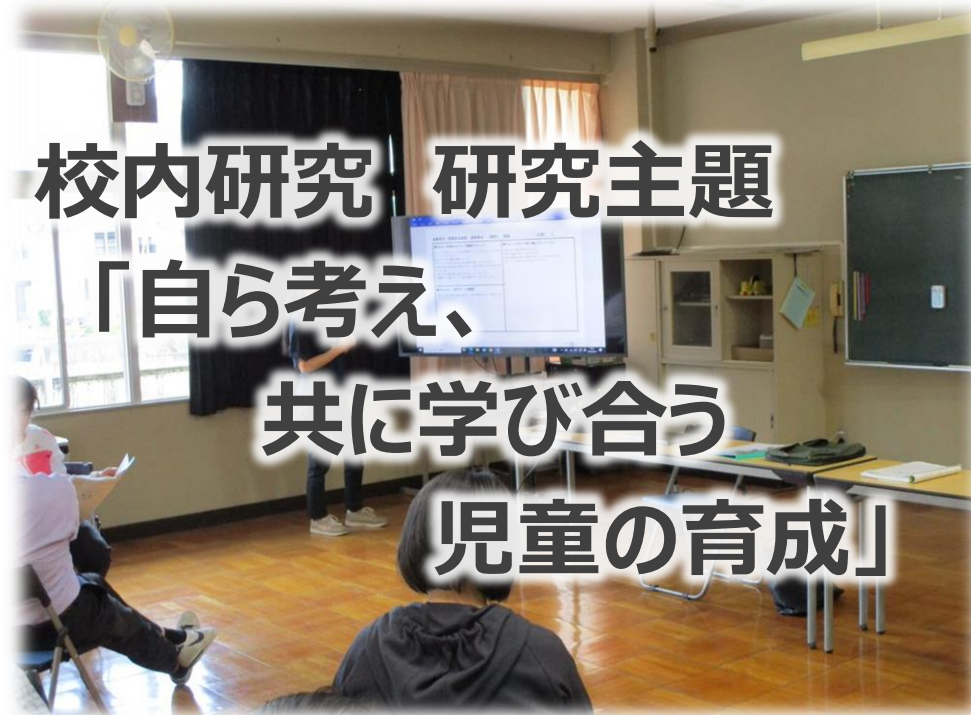
教員一人一人の授業改善につながる校内研究を目指し、各学校における校内研究への支援の在り方を探る。

研究の方法

- ・校内研究の運営に関する連絡を密にし、**管理職や研究主任と連携**する。
- ・**学習会**、学習指導案検討、研究授業、研究会の講師となり、情報提供や指導・助言をする。
- ・**各種学力調査の分析**結果を生かした授業改善の在り方について提案する。
- ・**作成物を活用**し、授業改善に向けた具体的な取組を提案し、支援する。
- ・拡大校内研究会やセンター研究大会において、研究の成果を発信する。
- ・検証の手立てとしてアンケートを実施する。

R5年度 研究推進校の研究主題

大月市立鳥沢小学校
1年目



北杜市立高根東小学校
2年目



- ・ 教員一人一人の授業改善につながる校内研究を支援する

研究主題

「自ら考え、共に学び合う児童の育成」～読解力向上を目指した授業改善を通して～

課題

校内研究の内容・進め方
ICT活用

具体的な支援

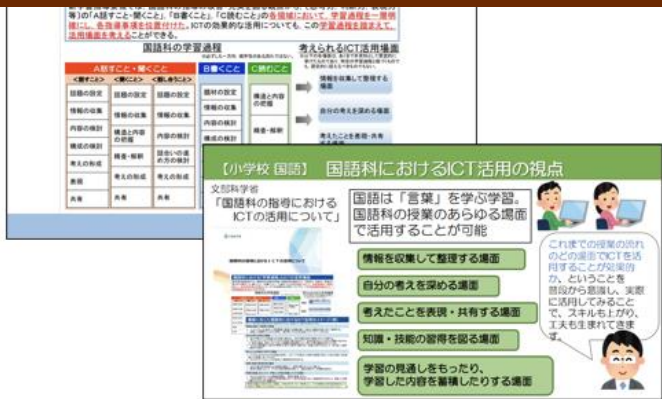
- ・ 学習会、研究授業、研究会への講師派遣
- ・ 各種シートの活用
- ・ 自校採点学習会
- ・ 対話リフレクション

支援の経過

- | | | | |
|-------|----------------------|------|--------|
| 4/26 | 今年度の方向性、ICT活用学習会（国語） | | |
| 5/24 | 自校採点学習会 | | |
| 6/14 | 読解力を育む国語科の授業実践学習会 | 講師 | 古屋啓一先生 |
| 10/18 | 研究授業 4年国語 | 指導助言 | 古屋啓一先生 |
| | * 対話リフレクションについて | | |
| 11/22 | 拡大校内研究会 | 2年国語 | |
| | | 指導助言 | 河野瑞穂先生 |
| | | | 古屋啓一先生 |

※上記以外にも一人一実践への支援を実施

4月26日
国語科におけるICT活用学習会
渡邊指導主事



5月24日 自校採点学習会



熱心な話し合い

初任者の先生からベテランの先生、管理職を含めて全職員で取り組む



6月14日
読解力を育む国語科の授業実践学習会
講師 古屋啓一先生 (大学連携)



10月18日 研究授業
講師 古屋啓一先生 (大学連携)



授業研究会 渡邊指導主事

対話リフレクション



5月24日 自校採点学習会

全国学力・学習状況調査 自校採点 (教科) _____ (大問) _____	
◆Keep (成果が出ていて継続すること) ○ ○	◆Try (これから取り組んでいくこと) ○ ○
◆Problem (解決すべき課題) ○ ○	

これは分かったことといえるのかな？

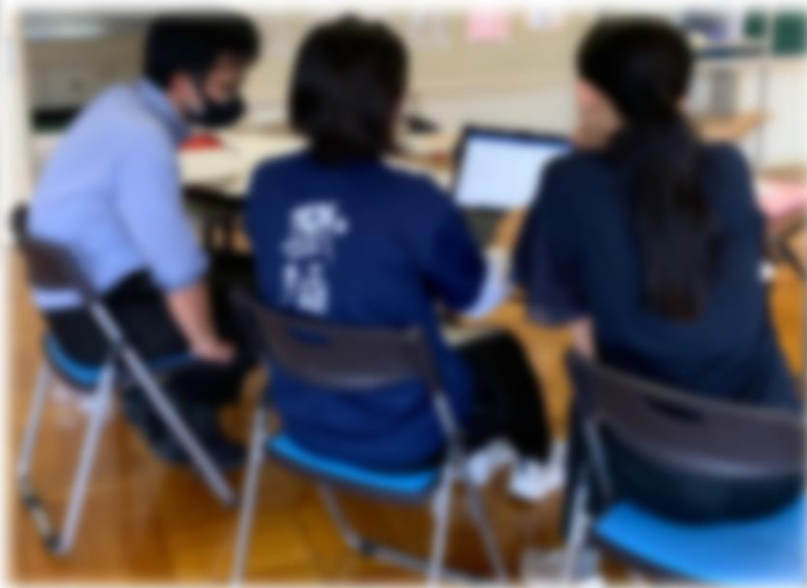
この誤答はどの類型番号に分けられるのかな？



5月24日 自校採点学習会

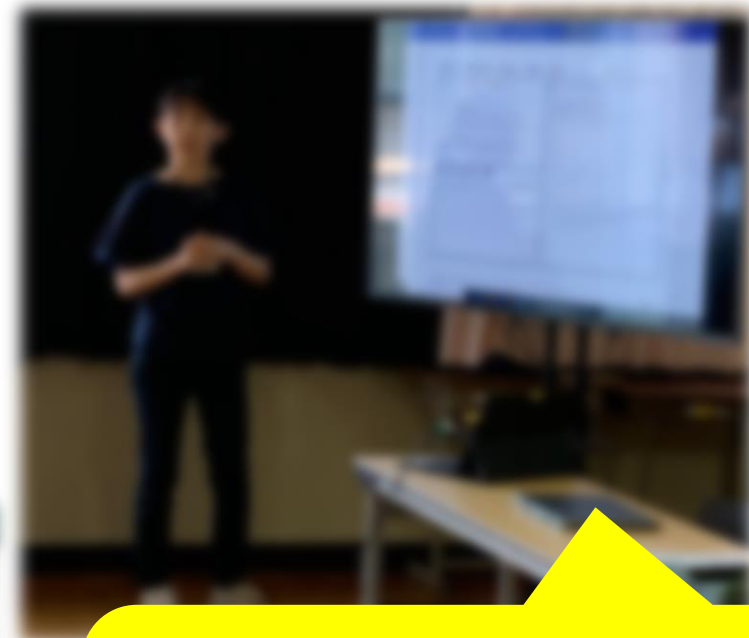


初任者の先生からベテランの先生、管理職を含めて全職員で取り組む



学習会後の先生方の声

「自校採点をしたことで、本校の課題を把握し、授業に生かすことができました！」



グループで話し合った内容や子供のつまずきを**全体共有**

10月18日 授業研究会での対話リフレクション

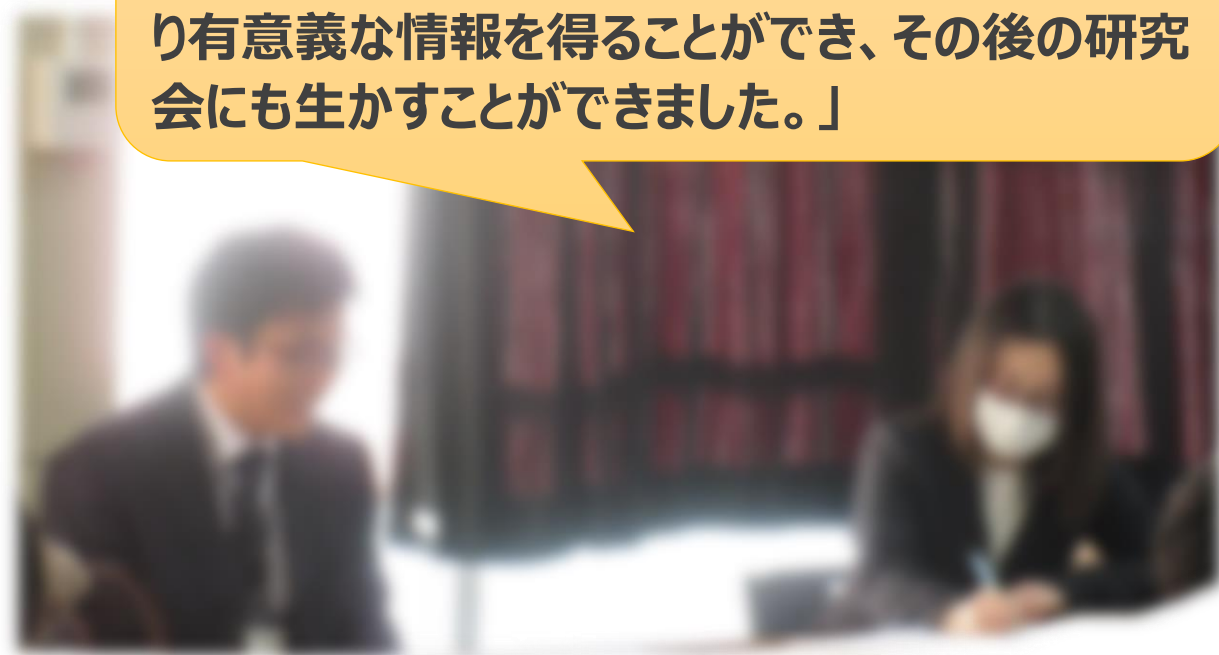
指導意図を引き出したり、気づきを促したりするような質問をする



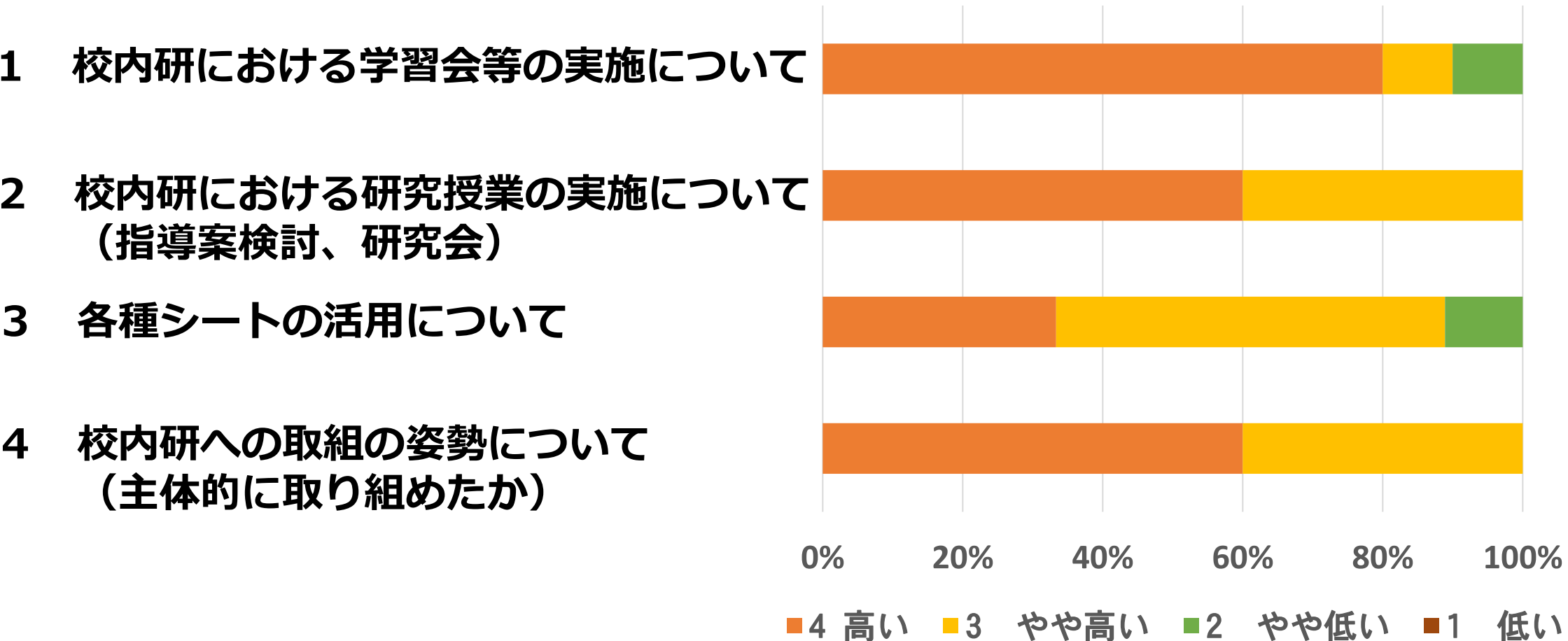
11月22日 拡大校内研究会での対話リフレクション

先生方の声

「対話リフレクションによって、授業提案者からより有意義な情報を得ることができ、その後の研究会にも生かすことができました。」



鳥沢小学校（1年目）研究推進校に関するアンケート（満足度の自己評価）



（**自校採点**について）**子どもの傾向**や、**採点基準のしくみを知る機会**になった。
問いに対する解釈に幅があること、**問いを吟味することの意義**を改めて考えた。



対話リフレクションを行うことで、どんなことを目指して行ってきたのかなどの**授業者のねらいが明確**になってよい。

1年間を通して勉強させていただく機会を得られたことが大変有意義で、学ぶことが沢山ありました。**授業を組み立てる視点がハッキリ**したことで、**自分が行う授業自体が変わった**と感じています。また、授業をしていても、**以前より楽しいと自分自身も感じる**ことができました。



センターの指導主事の協力のもと、今年度の**校内研を充実**させることができました。また、一人一実践の授業観察、指導助言をしていただいたことで、**実りのある研修**になりました。



・全国学力・学習状況調査の自校採点学習会について

👉 6年生の課題を全学年で共有し，授業実践に取り組む

・対話リフレクションについて

👉 授業で児童に身に付けさせたい力，
そのために工夫したことを授業者から
引き出す



高根東小学校（2年目）

研究主題

「たくましく学ぶ児童の育成」 ～つなぐ学びを通して～

課題

校内研究会の活性化
ICT活用

具体的な支援

- ・ 学習会、研究授業、研究会への講師派遣
- ・ ICT端末を活用した研究会
- ・ 各種シートの活用

支援の経過

- 4/17 今年度の方向性
- 6/19 研究授業 指導助言 角田 大輔先生
運営支援（センター指導主事）
- 7/24 ICT活用学習会
ICT教育支援センター 飯窪優指導主事
- 9/11 研究授業 1年国語 指導助言 藤原裕一先生
- 10/24 拡大校内研究会 5年算数
指導助言 小尾一仁先生
角田大輔先生

※上記以外にも一人一実践への支援を実施

6月19日 算数科研究授業及び授業研究会

目的：授業研究会における運営支援
協議進行及びICT活用

講師 角田 大輔先生（大学連携）



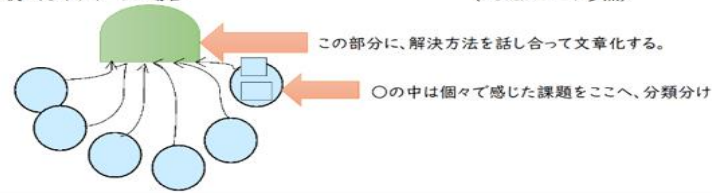
センター指導主事が進行役を務める



7月24日 ICT活用学習会

ICT教育支援センター 飯窪指導主事

② 研究会では良い点を出し合う。次に課題について話し合い、思考ツールを選択してまとめていく。
例 くらげチャートの場合 (P3.QRコード参照)



9月11日 研究授業

講師 藤原 裕一先生（大学連携）



10月24日 拡大校内研究会

講師 小尾 一仁先生（大学連携）
角田 大輔先生（大学連携）



授業参観中に気付いたことを端末の付箋に入力する。グループ協議の時間の確保につながった。



「明日の授業に生かすシート」

『明日の授業に生かすシート』
～学んだことを一人一人の授業に取り入れる～

氏名 _____

授業後研究会

□授業の振り返りから、成果や課題、改善策をもてたか

一人一人が自分の授業に取り入れたい手立てをもつ

□全校体制で取り組む授業改善に向けた手立てを共有する

個々の授業研究へ

□授業研究で明らかになった成果や改善策を、授業に生かしているか

□取り入れたことを振り返っているか

教師自身や児童の変容を見取る

□全教員で取り組んでいるか

校内研で実践を報告する時間を設け、個々で取り組んだことを共有する

本日の授業研究で明らかになった「有効な手立て」や「改善策」は何でしたか？

明日からの授業や一人一実践等で、どのように活用しますか？

今後、学校や学年として、どんなことを検討しておきたいですか？

「授業メイキングシート」

見本

授業研究 メイキングシート～私はこうしてこの授業をつくりました～

授業日 (○) 月 (○) 日 (月) 授業者 (△) 年 ○ ○ ○ ○

つくった授業

教科 (国語) 単元名 (モチモチの木)

本時のねらい (不思議なお話「モチモチの木」と出会い感想を交流する)

全何時間のうちの何時間目 全(8)時間のうちの(1)時間目

この授業の山場(クライマックス)はどこか？

山場(クライマックス)とあるが1時間の授業の中で中心となる活動、発問を書いてみましょう。

児童が初発の感想をもち、感想を交流すること

板書の写真、地域人材なども記しておくとも参考になります。

使った参考図書、教材/教具の工夫、地域材料の活用

斎藤隆介の本、

前時の板書の提示(電子黒板・板書を撮影しておいた)

本時の評価

本時の評価についてポイントを絞って授業を振り返り、見たりすることができます。

様子や行動を表す語彙を増やし、叙述を基に登場人物の行動を捉えることができたが、(知識・技能)

授業づくりを楽しみ、自分の授業を共有しよう！！

「先生たちの学びの充実に向けて」

先生たちの学びの充実に向けて

学校名 _____ 名前 _____

〇〇立〇〇小学校

学校教育目標 _____

研究主題 _____

【年度始め】 4月△日

◇研究主題に向けて、どのようなことに取り組もうと考えていますか。

【年度途中】 〇月△日

◇年度始めに立てた自身の課題を見直してみましょう。

☆日々の授業や子供たちとの関わり方が変化や成長など先生たちの学び

【年度末】まとめ 〇月△日

◆Keep (成果が出ていて継続すること)	◆Try (これから取り組んでいくこと)
◆Problem (解決すべき課題)	

授業メイキングシート

つくった授業

教科 (国語) 単元名 (モチモチの木)
本時のねらい (不思議なお話「モチモチの木」と出会い感想を交流する)
全何時間のうちの何時間目 全(8)時間のうちの(1)時間目

この授業の山場(クライマックス)はどこか?
↑
児童が初発の感想をもち、感想を交流すること

使った参考図書、教材/教具の工夫、地域材料の活用
↑
高藤隆介の本、
前時の板書の提示(電子黒板・板書を撮影しておいた)

本時の評価
↑
様子や行動を表す語彙を増やし、
叙述を基に登場人物の行動を捉えることができたか。
(知識・技能)

山場(クライマックス)とあるが1時間の授業の中で中心となる活動、発問を書いてもよいです。

板書の写真、地域人材なども記しておくとな参考になります。

本時の評価についてポイントを絞って授業を考えたり見たりすることができます。

授業研究 メイキングシート～私はこうしてこの授業をつくりました～

授業日(6)月(19)日(月) 授業者

つくった授業

教科 (算数) 単元名 (わり算のしかたを考えよう～わり算の筆算～)
本時のねらい (2位数÷1位数(あまりなし)の計算の仕方を既習の除法の計算方法を基に考え、理解する。)
全何時間のうちの何時間目 全(11)時間のうちの(2)時

『つなぐ』手立てを活用した
↑
この授業の山場(クライマックス)はどこか?
・72÷3の計算の仕方について、考えを発表し合い、検討する。

『つなぐ』手立ての活用 何とつながるか。
↑
・これまでの知識と(前学年・前時までの学習内容、既習)
・これからの知識へ(今後)
・学習の流れと(見通し・)
・人(言語活動)と(友だ)

本時の評価
・数のまとまりや既習(余りなし)の計算方法を

学んだことを一人一人の授業に取り入れる ～「授業研究の進め方」の活用～

授業後研究会

□授業の振り返りから、成果や課題、改善案をもてたか
・一人一人が自分の授業に取り入れた手立てをもつ
・全校体制で取り組む授業改善に向けた手立てを共有する

個々の授業研究へ

□授業研究で明らかになった成果や改善案を、授業に生かしているか
□取り入れたことを振り返っているか
・教師自身や児童の姿を見取る
□全教員で取り組んでいるか
・校内研で実践を報告する時間を設け、個々で取り組んだことを共有する

本日の授業研究で明らかになった「有効な手立て」や「改善案」は何でしたか?

明日からの授業や一人一人実践等で、どのように活用しますか?

今後、学校や学年として、どんなことを検討しておきたいですか?

明日の授業に生かすシート

授業後研究会

□授業の振り返りから、成果や課題、改善案をもてたか
・一人一人が自分の授業に取り入れた手立てをもつ
・全校体制で取り組む授業改善に向けた手立てを共有する

個々の授業研究へ

□授業研究で明らかになった成果や改善案を、授業に生かしているか
□取り入れたことを振り返っているか
・教師自身や児童の姿を見取る
□全教員で取り組んでいるか
・校内研で実践を報告する時間を設け、個々で取り組んだことを共有する

本日の授業研究で明らかになった「有効な手立て」や「改善案」は何でしたか?
日常と子どもたちの意欲、学習問題をつないだ導入の仕方が有効であった。
前時のつながりを意識して、自力解決ができるように仕組まれた問いかけや板書が有効であった。
グループ活動をより平等に活発に進める方法を考えていきたい。

明日からの授業や一人一人実践等で、どのように活用しますか?

自分の思考の過程を子どもたちが表現できるように積み重ねる。
日常と授業をつなげる教材研究をする。
前時や次時を意識した授業構成をする。

高め合えるグループ活動にするための手立て。
系統性を教員が意識し、子どもたちに意識させる授業づくり。
学習が苦手な児童がSOSを出しやすい環境づくり。

校内研の手立て「つなぐ」

『明日の授業に生かすシート』 ～学んだことを一人一人の授業に取り入れる～ *実践し、検証し、改善していく!

『明日の授業に生かすシート』

～学んだことを一人一人の授業に取り入れる～

*実践し、検証し、改善していく！

氏名 _____

授業後研究会

□授業の振り返りから、成果や課題、改善策をもてたか

- ・一人一人が自分の授業に取り入れたいつなぐ手立てをもつ
- ・全校体制で取り組む授業改善に向けたつなぐ手立てを共有する

本日の授業研究で明らかになった「有効なつなぐ手立て」や「改善策」は何でしたか？

日常と子どもたちの意欲、学習問題をつないだ導入の仕方が有効であった。
前時のつながりを意識して、自力解決ができるように仕組まれた問いかけや板書が有効であった。
グループ活動をより平等に活発に進める方法を考えていきたい。

個々の授業研究へ

□授業研究で明らかになった成果や改善策を、授業に生かしているか

□取り入れたことを振り返っているか
・教師自身や児童の変容を見取る

□全教員で取り組んでいるか
・校内研で実践を報告する時間を設け、個々で取り組んだことを共有する

明日からの授業や一人一実践等で、どのように活用しますか？

自分の思考の過程を子どもたちが表現できるように積み重ねる。
日常と授業をつなげる教材研究をする。
前時や次時を意識した授業構成をする。



今後、学校や学年として、どんなことを検討しておきたいですか？

高め合えるグループ活動にするための手立て。
系統性を教員が意識し、子どもたちに意識させる授業づくり。
学習が苦手な児童がSOSを出しやすい環境づくり。

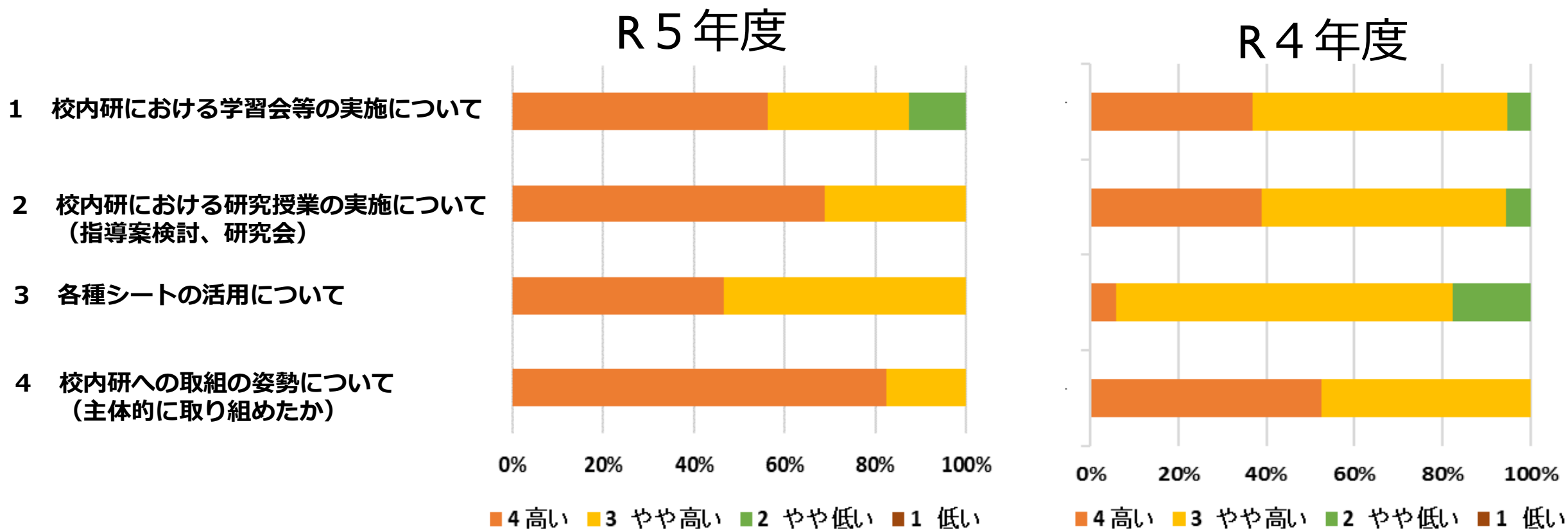


～同一教諭の記述の変容～

シートを継続的に活用することで
授業改善につながるPDCAサイクルの確立

月	授業研究で明らかになった「有効なつなぐ手立て」や「改善策」は何でしたか？	明日からの授業や一人一実践等で、どのように活用しますか？
6	対話的な活動において、自由に考えを交流する場面と、話し合いの柱を意識させる場面の両方を使い分けることが大切だと感じた。	一つの考えだけではなく、様々な考え方をを用いて問題を解くことで深い学びにつながるようにしたい。
7	児童に自由に考えさせる時間を確保し、手が止まったら一緒に考える。	児童が自由に対話したり取り組んだりする時間を十分に確保する。
9	全体で共有し、様々な考えをつなぐ。	子供のつぶやきを拾い、つなげていく児童主体の授業づくり。
10	自由に意見交換 誤答の扱い方 掲示物の有効活用	誤答から様々な考えを広げてく。 掲示物を有効に活用し、自己解決につなげる。

高根東小学校（2年目）研究推進校に関するアンケート（満足度の自己評価）



高根東小学校（2年目）研究推進校に関するアンケート（満足度の自己評価）

ファシリテーターとしての役割や進行の仕方を学ぶことができた。初めてタブレットを使っての研究会だったので不安であったが、話し合いは大変やりやすく、まとめるまで進めていただいた。その様子を次の研究会で生かすことができ、有効な時間になった。



新しい授業づくり、授業改善に取り組むことができました。研究授業だけでなく普段の自分の授業で少しずつ実践を積み重ねています。研究会やブロック研究も活性化し、自分事として校内研に関わる意識が一段と高まったと感じています。研究を楽しめました。



一人一実践での指導が、非常にためになるものであった。授業と校内研究のつながりという観点から指導していただいたり、他の教員の指導とのつながりを指導していただいたりと、年間を通して学びや研究への意欲を継続することができた。



・研究授業事後研究会の活性化について

👉 自分事として課題を捉え，効果的な発問や流れなどについて掘り下げて討議する

・各種シートの活用について

👉 「授業研究メイキングシート」
→ 授業のゴールを明確にする

👉 「明日の授業に生かすシート」
→ 参観した授業から自分のクラスや学年で何が活用できるか，どう活かすかを考えて自分の授業改善に取り組む



自校採点学習会・対話リフレクション・各種シートの活用・学習会・ICT活用 等

児童の実態把握！問いの吟味！ねらいの明確化！新たな視点への気づき！

研究を楽しめた！
研究が自分事になった！



授業改善

授業自体が変わった！
授業をしても、
以前より楽しい！



学びや研究への意欲の継続

研究の活性化・校内研の充実

